

プレゼンテーションのストーリー構成を考える

プレゼンテーションの目的を設定して、聞き手の情報収集を終えたら、肝心のプレゼンテーションのストーリー構成を考えます。いきなりPowerPointを開いてスライドを作成するのではなく、手書きでもいいので、全体の構成を練りましょう。

≫ 6W2Hを書き出してみる

目的の設定と聞き手の分析が終わったら、提案内容を6W2Hで書き出し、整理してみましょう。

- | | |
|--------------------|---------------------|
| ① When(いつ)：スケジュール | ⑤ Why(なぜ)：現状 |
| ② Where(どこで)：地域や場所 | ⑥ What(何を)：実施内容 |
| ③ Who(誰が)：担当者 | ⑦ How(どのように)：具体的な方法 |
| ④ Whom(誰に)：ターゲット | ⑧ How much(いくら)：予算 |

≫ 基本的なストーリー構成

いよいよプレゼンテーションの流れを考えます。この段階では、まだスライドは作成しません。手書きでもかまいませんし、Wordのアウトライン機能を使うのもおすすめです。

プレゼンテーションのストーリー構成は、基本的には下記の流れで作成します。

- ① 概要
人の集中力は長くは続かず、時間の経過にしたがってどんどん落ちていきます。最初にプレゼンテーションの結論を短く伝えます。
- ② 現状分析
現状どうなっているのかを伝えます。うまくいっていないことだけでなく、うまくいっていることにも目を向けます。

③ 課題

現状分析から導き出される課題を提示します。

④ 原因

課題の原因を探ります。

⑤ 解決策

原因の解決策を提案します。

⑥ メリット

提案した解決策の相手側のメリットを提示します。

⑦ 根拠

メリットの根拠を示します。

⑧ スケジュール

実施項目と日程、必要な人員などを記載します。

⑨ 予算

予算の概算を記載します。

≫ 1スライド1メッセージを基本に考える

ストーリーが完成したら、いよいよスライドに落とし込んでいきます。1枚のスライドに複数のメッセージ(伝えたいこと)を入れると、聞き手が理解するのに時間がかかってしまいます。余計なものは可能な限り削り、スライドを複数枚に分割して、基本的には1スライド1メッセージに絞り込みます。

